

Fight!
Fukushima!

がんばろう
ふくしま!

週刊 避難者応援情報紙

浜通り ×

10月12日発行

Vol.279

さんじょうライフ



皆様の生活する上での不安や疑問を少しでも解消していただくための情報紙として、毎週お届けします。

目次

10/1 (土) 南相馬市HP「フォトレポ」から

練習の成果を披露! 幼稚園で秋の運動会

秋の運動会シーズンを迎え、市内の多くの幼稚園などで運動会が開かれました。

園児は徒競走の他、踊りや鼓笛、組み体操などに取り組み、日頃の練習の成果を家族に披露していました。



2ページをご覧ください。

●南相馬市HP「フォトレポ」から

- 練習の成果を披露!
幼稚園で秋の運動会----- 2
- 「帰って来いよ大鷲へ」
大鷲地区芸能文化祭----- 3
- 静岡県牧之原市と
災害時相互援助協定書を締結--- 3

●被災自治体News

- 南相馬市 ----- 4
- 浪江町 ----- 5
- 双葉町 ----- 12
- 富岡町 ----- 14

●交流ルームひばり通信

- 報告!!
一時帰宅支援&復興ボランティア派遣
----- 15
- 10月の「ひばり」 ----- 16



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

10/1 (土)

練習の成果を披露！幼稚園で秋の運動会

秋の運動会シーズンを迎え市内の多くの幼稚園などで運動会が開かれました。園児は徒競走の他、踊りや鼓笛、組み体操などに取り組み、日ごろの練習の成果を家族に披露していました。

今回は、鹿島、上真野、原町みなみ、高平の各幼稚園と原町聖愛こども園取材しました。この日は過ごしやすい陽気で、園児たちは家族や友達と一緒に心地よい汗を流しているようでした。



10/2 日 ^{おおみか} 「帰って来いよ大甕へ」大甕地区芸能文化祭

第34回大甕地区芸能文化祭が大甕生涯学習センターで行われ、地域住民らが交流を深めていました。7月に避難指示は解除されたものの、大甕地区の一部は避難指示区域だったことから、文化祭は昨年と同じく“「帰って来いよ大甕へ」文化祭”と銘打って行われました。会場では、地域住民が帰還したくなるよう趣向を凝らしたさまざまな催しが展開されていました。

催しのうち芸能発表会では、地域にゆかりがあり、都内などで活躍するフルート奏者MIYaさんをはじめ約20の個人・団体が歌や踊りのステージを繰り広げました。MIYaさんのステージでは、ひばり法螺貝愛好会との「相馬流れ山」、原町第三中学校吹奏楽部との「相馬盆歌」と前衛的な複合音楽が披露され、大きな拍手が送られていました。



市長あいさつ



ひばり法螺貝愛好会の礼螺で幕開け



どじょうの手づかみコーナーは子どもに大人気



MIYaさんと原町三中の共演



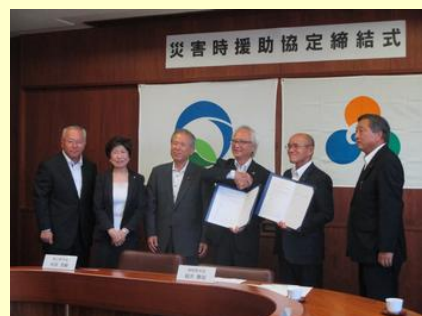
地域住民の芸術作品の展示

9/27 火 静岡県牧之原市と災害時相互援助協定書を締結

市では、災害時に食料などの物的支援、職員の応援協力を相互に行う「災害時相互援助協定書」を静岡県牧之原市と締結しました。

牧之原市からは東日本大震災後、直後に燃料の輸送支援を受けたほか、平成24年度から職員を派遣していただいています。

牧之原市役所で行われた締結式では、牧之原市の西原市長が「これまでの交流で培った絆を大切に、万が一の場合は支援をいただきたい。お互いの交流がますます発展することを願っている」と述べ、桜井市長は「多くの皆さんの協力と理解があってこそ。今後とも積極的に交流し、援助を受けながら復興に結びつけていきたい。お互いが助け合える環境を強めたい」と話しました。





南相馬市からのお知らせ

南相馬市民の避難状況 ※南相馬市外に避難している人数（南相馬市HPから）

【都道府県別】

平成28年10月6日現在

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
福島県	3,762	群馬県	125	愛知県	20	広島県	5	島根県	1
宮城県	1,376	長野県	57	青森県	18	大分県	5	和歌山県	-
東京都	522	北海道	56	京都府	16	宮崎県	5	鳥取県	-
新潟県	497	山梨県	54	福井県	12	三重県	4	徳島県	-
茨城県	496	秋田県	43	沖縄県	12	富山県	3	高知県	-
山形県	493	岩手県	38	岐阜県	10	香川県	3	熊本県	-
埼玉県	451	静岡県	34	滋賀県	9	愛媛県	3	鹿児島県	-
栃木県	347	石川県	29	岡山県	8	佐賀県	3	海外	10
千葉県	282	大阪府	23	福岡県	8	山口県	2	合計	9,154
神奈川県	280	兵庫県	23	長崎県	8	奈良県	1		(9/29 9,181)

【福島県内市町村別】

市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数
福島市	953	喜多方市	32	大玉村	9	古殿町	5	合計	3,762
相馬市	896	本宮市	31	磐梯町	9	広野町	5		
いわき市	547	会津坂下町	22	棚倉町	9	泉崎村	4		
郡山市	454	西郷村	19	三春町	9	檜葉町	3		
会津若松市	171	鏡石町	15	南会津町	7	天栄村	2		
新地町	161	川俣町	14	金山町	7	鮫川村	2		
須賀川市	83	猪苗代町	14	会津美里町	6	浅川町	2		
二本松市	82	桑折町	13	矢吹町	6	小野町	2		
伊達市	81	西会津町	13	矢祭町	6	国見町	1		
白河市	49	田村市	12	北塩原村	5	塙町	1		

平成23年3月11日現在の人口 71,561人

市内居住者	自宅居住	35,069人
	市内の知人宅や借上げ住宅等	3,198人
	市内の仮設住宅	2,622人
	市内転居	6,238人
計		47,127人
市外避難者	市外の知人宅や借上げ住宅等	9,154人
	(うち福島県外)	(5,392人)
	計	9,154人
その他	死亡（震災以外の死亡含む）	5,045人
	転出	10,224人
	所在不明	11人
	計	15,280人

	平成23年 3月11日現在の 人口	平成28年 10月6日現在の 居住者数
小高区	12,842人	870人
鹿島区	11,603人	12,637人
原町区	47,116人	42,526人
計	71,561人	56,033人

(他市町村からの避難者 2,411人)

※平成23年3月11日以降の転入者および他市町村からの避難者を含むため、避難の状況の市内居住者数と合計の数が異なります。



浪江町からのお知らせ

浪江町HP「つながろう なみえ」から

また一步、前進

63年前の浪江町に海はありませんでした。昭和28年に、海に面した請戸村・幾世橋村と合併、その3年後に内陸の苅野村・大堀村・津島村と合併して、現在の浪江町が誕生したのです。

以来、今年で60年という節目を迎え、10月9日(日)に合併60周年記念式典が行われました。場所は、当日朝にテープカットが行われたばかりの浪江町地域スポーツセンター、サブアリーナ。

真新しい会場に250人以上の来賓をお迎えして盛大に祝うことができました。午後からはメインアリーナで浪江町消防団検閲式も行われ、全町避難が続く町内で初めての大きな行事の一日となりました。



町長式辞（浪江町合併60周年記念式典）

10月11日HP更新

本日ここに浪江町合併六十周年記念式典を挙行いたしましたところ、公私なにかとご多用中にもかかわらず、多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

町の今日までの歩みを考えてみますと、明治23年の町村制施行により浪江村、明治33年に浪江町となり、昭和28年に請戸村、幾世橋村と合併、次いで昭和31年に大堀村、苅野村、津島村と合併、当時27,693人を有する双葉郡北部の拠点として、現在の浪江町が誕生いたしました。

本来であれば、この場に多くの町民の皆様にお越しいただき、共にこの記念すべき日を慶びたいところでありました。しかし、平成23年3月11日に発生した東日本大震災と原子力災害により避難指示が発令され、以来5年7か月の長きにわたり、広域分散避難を余儀なくされ、誰ひとりとして浪江町に帰還することができず、今なお避難生活を送っている状況の中で、本式典の開催に至らざるを得なかったことは、痛恨の極みであります。

この間、浪江町及び浪江町民に対しまして、全国、さらには世界中から温かいご支援を賜りましたことに対し、心から敬意と感謝を申し上げます。

特に、浪江町民の避難先として仮設住宅を設置させていただいております自治体の皆様、町民の絆を維持するための浪江町交流館、さらには仮浪江町役場及びその出張所を設置させていただいております自治体の皆様、発災以降、浪江町役場へ応援職員を派遣いただきました全国の自治体、及び関係団体の皆様より賜りました多大なるご支援に対しまして、重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、いま私たちが向き合わなければならないのは、いうまでもなく「全町避難からの復興」という使命であります。

それは非常に厳しい道りです。残念ながら百パーセント元どおりの町に戻すことは困難と言わざるを得ません。しかし、少しでも元の状態に近づけるよう、そして震災前よりも良い町を創建しようという覚悟で、私たちはこの険しい道を歩んでおります。

次ページへ続きます 

復興に魔法はありません。ときに緩慢に見える歩みには、苛立ちも覚えるかもしれません。が、地道な努力を一步ずつ積み重ねた先に、必ず未来は切り拓けるものと希望をもっております。

中国の文学者、魯迅の代表作「故郷」には、次のような一節があります。

「希望とは、もともとあるものとも言えぬし、ないものとも言えぬ。

それは地上の道のようなものである。

地上にはもともと道はない。

歩く人が多くなれば、それが道となるのだ。」

浪江町が取り組む町の復興にも、同じことが言えるのではないのでしょうか。道なきところに勇気をもって足を踏み入れ、その一步一步が結果として道となっていくのであります。この式典をあえて浪江町で挙行した理由は、ここにあります。

町というものは、人の住まない状態がつづけば、またたく間に荒廃が進みます。一日一日、ふるさとが荒れていく姿を見るのはまことに耐え難く、この無念の思いは、すべての浪江町民がひとしく胸に抱いておられるはずです。

この町を、うつくしいふるさとを甦らせるために、これまでも多くの汗が流されております。

町とは言うまでもなく、人々の「暮らし」の集合体であります。自宅に住み、草をかり、道を清める。隣近所との交流を深め、生業を営み、地域の行事を皆で作っていく。一人でも多くの町民の皆さんが浪江に帰り、そのような「普通の暮らし」を一日も早く取り戻していただくところ、町の復興の礎であると考えております。

ふるさとを離れて5年7か月、町民はみな塗炭の苦しみを味わいながらも、一人ひとり、それぞれの場所で必死に生活再建の努力をされてきました。その中でも、避難指示が解除されたら先陣を切って浪江に帰り、町を復興させていくのだ、という決意を語ってくださる方々がおられます。

容易ならざるご決断でありましょう。が、そうした皆様がパイオニアとなって道を拓き、後から続く人々に希望と勇気を与えてくださることを、私は本当に心強く感じます。

今こそ、震災前から培ってきた浪江町の官民協働の精神が試されるときではないでしょうか。私は今日の記念すべき日を契機に、その先頭に立つ覚悟を新たにし、新生・浪江町のパイオニアとなって一緒に立ち上がってくださる皆さんを、最大限に支援していくことをお誓いいたします。

歴史は繰り返すと言われます。イギリスの歴史家E・H・カーは、著書「歴史とは何か」の中で、「過去を語りながら、現在が未来へ食い込んでいく、その先端に私たちを立たせる」と記しており、歴史に学ぶとは教訓を実践することだと、あらためて考えさせられます。

浪江町はこれまでも、先人たちの叡智により幾多の困難を乗り越え、難局を克服してまいりました。この震災と原発災害に対しましても「明けない夜はない」と信じ、先人諸兄に恥じることが無いよう、現在、復旧・復興を確実に進めております。

これからも力強く、新しい浪江町の創建に邁進していく所存でありますので、ご臨席の皆様方におかれましては、これまで以上のご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本式典に当たり、重ねてご来賓の皆様には厚く御礼申し上げますとともに、ますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、浪江町合併六十周年記念式典の式辞といたします。

平成28年10月9日

浪江町長 馬場 有

問い合わせ

総務課 秘書係

TEL 0243-62-0130

浪江町HP「つながろう なみえ」から

豊かな田畑をとり戻すために ～営農再開へ向けて

原発事故避難前の浪江町には豊かな田畑が広がっていました。人の手が入らなくなった農地は瞬く間に荒れてしまいましたが、生産者の皆さんは、来るべき避難指示解除後の営農再開に向けて、町内各地でもくもくと農地の保全作業に取り組んでいます。

一部の地区ではコメや野菜、花卉(かき)などの実証栽培も行われ、部分的には販売もできるまでになりました。



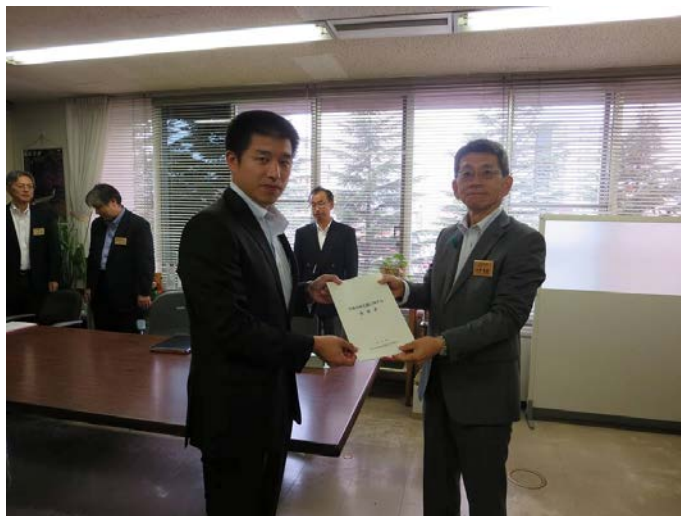
10月10日に大学生も参加して行われた浪江町酒田地区での稲刈りの様子

町はこうした皆さんの取り組みを全面的に支援していますが、それでも水路復旧の遅れや風評被害対策といった、町単独では解決できない課題が残されています。

そこで、国や県への要望活動も町の大切な仕事のひとつです。

9月16日には、福島県に対し営農再開支援事業の長期継続や実証栽培支援制度の拡充などを申し入れました。

県や関係機関と協力して、生産者の皆さんが帰町後に安心して農業に取り組める環境整備を進めていきます。



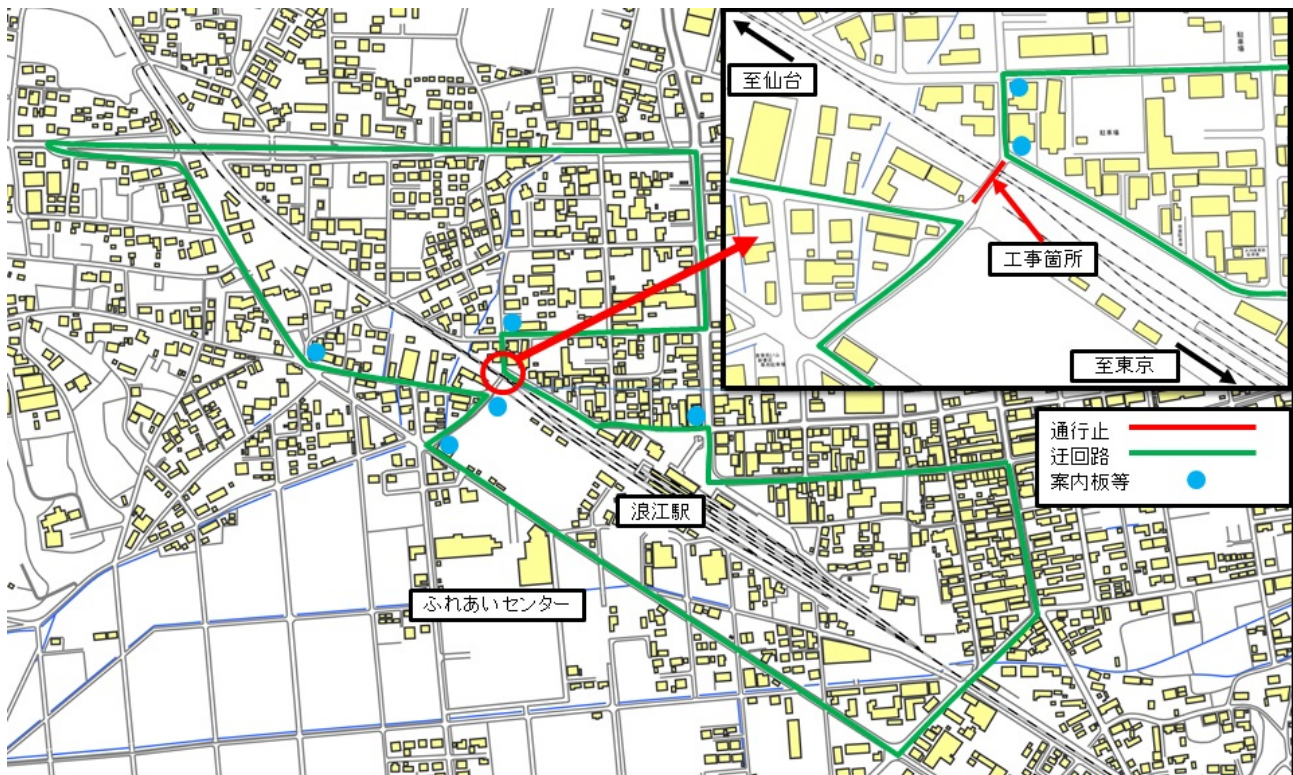
(権現堂・川添地内) 川添街道踏切拡幅工事に伴う通行止めのお知らせ

10月6日HP更新

川添街道踏切拡幅工事に伴い、下記の期間、通行止めを行います。

通行止め期限

平成29年1月31日



施工業者: 東日本旅客鉄道株式会社水戸支社

問い合わせ

まちづくり整備課 建設係

TEL 0240-34-0244

浪江町HP「つながろう なみえ」から

半世紀前の電話は…

昭和42年10月8日、浪江にダイヤル式自動電話が誕生しました。

それまではハンドルを回して交換手に番号を伝えていたのが、この日を境に市内通話はもちろん、遠く東京にもダイヤルひとつで即時につながるようになったのです。

それから半世紀の間に情報通信技術がこれほど発達するとは、当時の誰が想像したでしょうか。



世界の願い 交通安全

第三種郵便物認可

広報 なみえ ②



ダイヤル式自動電話誕生

10月8日開始

東京・福島・郡山・平・会津若松・原町など即時通話に……

みなさまお待ちかねの自動電話への切り替えは、十月八日(日)午前〇時から新局舎でサービスを開始することになりました。ながい間、いろいろご迷惑やご不便をかけてまいりましたが、さらにみなさまのご協力により、この切り替えが無事できますように願うものであります。

なお、警備富岡電報電話局も同時に誕生し、おかれていた双葉地方の電話が飛躍的に向上し、平、原町をはじめ遠く会津若松や東京までも、ダイヤルひとつでつながる即時通話などいろんな面でこれまでよりもグント便利になります。

◎電話番号
町内局番(五)がついて五ケタの数字に変更されます。

◎市内通話
これまでのように、ハンドルを回して交換手に「何番」というのではなく相手の電話番号(五数字)をダイヤルするだけになります。

▼まず受話器をはずして耳にあて「ブーン」という連続音(発信音)を聞いてからダイヤルを回します。

▼ダイヤルし終わるとちよっと間をおいて「ツーツ

ツーツの間が閉まっています。相手は「ブーッ」といって三分

なおし市外通話の手のつうよう申し込みます

▼自動即市外局の番号



双葉町からのお知らせ

「まちの話題～ブログふたばのわ～」から

ふたばの人と人、人と地域を繋ぐ ～ふたばワールド2016 in かつらお

10月2日(日)、葛尾村で「ふたばワールド2016 in かつらお」が開催され、6,500人もの方が来場しました。

今年6月に帰還困難区域以外の避難指示が解除された葛尾村。この日は、心地よい風と好天に恵まれ、これからの双葉郡の復興を後押しするかのようでした。

会場内は、双葉郡を盛り上げようと活動している団体や企業、自治体などのブースや、設置されたステージでの催し物で、オープニング直後から大いににぎわっていました。



ステージでは、今年4月に誕生した葛尾村のゆるキャラしみちゃんを応援するために、特別ゲストのふなっしーと双葉郡内のゆるキャラたちが応援に駆けつけました。

双葉町からステージに上がったのは、この日お披露目となった「双葉ダルマさん」。前後両方に顔があり、一見ちょっと不気味ですが、そのかわいらしい動きを見ているとだんだん親しみが湧いてきます。会場内からは「かわいいー！」という声が聞かれ、ステージ後には来場者と一緒に写真を撮る姿も。

多くの人に名前と顔を覚えてもらい、「双葉ダルマさん」にとっては最高のデビューとなりました。

また、その後のステージではJAスマイル大正琴の皆さんによる演奏も行われました。曲目に合わせた演出や美しい音色に、会場の皆さんから大きな拍手が沸き起こりました。



次ページへ続きます 

「まちの話題～ブログふたばのわ～」から

他にも、双葉町からは「ふたば茶亭」による洋菓子の販売、「ぐるぐるユニット」による懐かしの味「よっちゃんスルメ」の販売や再開お店マップの配布も行われました。

ぐるぐるユニットの皆さんは、ふるさとのために何かしたいという思いから活動を続けています。今回の出店に向けて、試食会や配布するマップの取材、制作を続けてきました。

当日、よっちゃんスルメ200パック完売を目標に掲げていたぐるぐるユニット。よっちゃんスルメを買いに来た人の中には、ダルマ市のときにも買いにきてくれた人やよっちゃんスルメを懐かしんで来てくれた人などもおり、人と人のつながりを感じられる場となりました。

また、よっちゃんスルメの隣ではぐるぐるユニットが制作した関東地域で再開した双葉郡のお店や農園を紹介した冊子「ツナガル」の配布も行われました。

「ツナガル」を手にしたお客様からは、

「〇〇さんのお店、今は△△で再開しているのね！」

「双葉郡全体のお店の情報が載った冊子は今までなかったからよかった」

など、うれしい言葉が聞かれました。



そして、開店から約4時間後、目標だったよっちゃんスルメ200パックを無事完売！また、冊子「ツナガル」も約200冊配布することができました。

目標達成を喜ぶメンバーの表情からは、ダルマ市に引き続き、大きなイベントをみんなで協力して乗り越える「達成感」を味わえたように感じました。



たくさんの人の支援や協力で、笑顔であふれるイベントとなった今回の「ふたばワールド2016 inかつらお」。

フィナーレでは「一緒に創ろう、ふたばの明日！」の掛け声を合図に来場者の皆さんがメッセージを描いた風船が大空に飛ばされました。

「これからも双葉郡の絆をもっと深められるように」大空に浮かぶ風船を眺める来場者の皆さんの姿から、そんな願いが込められているように感じました。

(取材：ふたさぽ山下、山根)



富岡町からのお知らせ

「富岡町立とみおか診療所」が開所しました

10月6日HP更新

10月1日から、富岡町内に「富岡町立とみおか診療所」が開所しています。

診療科目

内科、外科、精神科

診療日

- ★平成29年3月31日まで
木～土曜日の週3日
- ★平成29年4月から
火～土曜日の週5日



診療時間

午前9時～午後0時30分、午後1時30分～5時

診療所管理者

今村諭医師(医療法人社団邦論会理事長・今村病院院長)

場所

富岡町大字小浜字中央374番地1
(富岡町複合商業施設道路向かい)



問い合わせ

富岡町立とみおか診療所

TEL 0240-22-6522

富岡町民の避難状況

【都道府県別】

平成28年10月1日現在

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	66	埼玉県	531	岐阜県	4	鳥取県	1	佐賀県	3
青森県	32	千葉県	454	静岡県	53	島根県	22	長崎県	5
岩手県	30	東京都	680	愛知県	54	岡山県	10	熊本県	8
宮城県	259	神奈川県	403	三重県	4	広島県	12	大分県	10
秋田県	24	新潟県	262	滋賀県	11	山口県	14	宮崎県	8
山形県	29	富山県	6	京都府	10	徳島県	8	鹿児島県	13
福島県	10,775	石川県	20	大阪府	37	香川県	2	沖縄県	19
茨城県	654	福井県	17	兵庫県	10	愛媛県	10	海外	13
栃木県	242	山梨県	21	奈良県	10	高知県	6	合計	15,041
群馬県	100	長野県	53	和歌山県	3	福岡県	23	(前月 15,053)	

【福島県内市町村別】

市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数
福島市	358	南相馬市	140	矢吹町	28
会津若松市	154	伊達市	30	玉川村	8
郡山市	2,707	本宮市	44	三春町	251
いわき市	6,050	国見町	7	小野町	17
白河市	102	大玉村	165	広野町	137
須賀川市	85	西会津町	8	楢葉町	12
喜多方市	32	猪苗代町	16	川内村	30
相馬市	58	会津美里町	11	新地町	15
二本松市	48	西郷村	36	その他	58
田村市	159	泉崎村	9	合計	10,775

福島県内避難者数	10,775
福島県外避難者数	4,266
合計	15,041

福島県内避難世帯数	5,661
福島県外避難世帯数	2,295
合計	7,956

交流ルームひばり通信

報告!! 一時帰宅支援&復興ボランティア派遣

10月8日(土)、南相馬市への一時帰宅と、復興ボランティア派遣が行われました。

**くわしくは、
次号でお伝えします。**



10月の『ひばり』

日	月	火	水	木	金	土
★版画教室 第2・4水曜日午前10時～正午 ★茶話会&簡単な手芸教室 第1・3・5水曜日午前10時～午後2時 気軽に参加ください。				13日	14日	15日
				ひばり休み 浜通り配布		こども芋ほり 体験 ひばり休み
16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日
		ひばり休み	ひばり 茶話会	ひばり休み 浜通り配布		ひばり休み
23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日
		ひばり休み	ひばり 版画教室	ひばり休み 浜通り配布		

問い合わせ

交流ルーム ひばり(総合福祉センター内)

TEL 0256-33-8650

E-mail hibari_sanjo_nyh@yahoo.co.jp

[開館時間] 午前9時30分～午後3時

被災自治体 問い合わせ先一覧

市町村名	電話番号	以下の町は役場機能が移転しています。
南相馬市	0244-24-5232	浪江町:平石高田第二工業団地内 (二本松市北トロミ573番地)
浪江町	0243-62-0123	
双葉町	0246-84-5200	双葉町:双葉町役場いわき事務所 (いわき市東田町2-19-4)
富岡町	0120-33-6466	富岡町:郡山市大槻町西ノ宮48-5
いわき市	0246-25-0500	
郡山市	024-924-2491	

三条市に避難している 世帯数と人数(2016.10.12現在)

市町村名	世帯数	人数
小高区	29	65
原町区	5	8
南相馬市 計	34	73
浪江町	7	17
双葉町	4	7
富岡町	1	1
いわき市	1	5
郡山市	4	10
合計	51	113

発行/三条市総務部政策推進課 三条市旭町二丁目3番1号
Tel 0256-34-5511